



令和8年2月13日

各位

会社名 トラスコ中山株式会社
代表者名 代表取締役社長 中山 哲也
(コード 9830 東証プライム)
問合せ先 取締役 経営管理本部 本部長 兼
デジタル戦略本部 本部長 兼
オレンジブック本部 本部長
数 見 篤
(TEL. 03-3433-9830)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、令和8年2月13日開催の取締役会において、下記のとおり令和7年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

| | 決 定 額 | 直近の配当予想 (令和7年2月13日公表) | 前期実績 (令和6年12月期) |
|-----------|------------|--------------------------|--------------------|
| 基 準 日 | 令和7年12月31日 | 同左 | 令和6年12月31日 |
| 1株当たり配当金 | 29円50銭 | 28円50銭 | 28円00銭 |
| 配 当 金 総 額 | 1,945百万円 | — | 1,846百万円 |
| 効 力 発 生 日 | 令和8年3月4日 | — | 令和7年3月6日 |
| 配 当 原 資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2. 理 由

当社は、日本のモノづくりのお役に立つことを目的とした事業活動や設備投資を行い、持続的な成長を果たすことにより、その成果を最大限株主様に還元できると考えています。利益配分につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を基礎とし、安定配当としての下限を設けた上で、一定の基準を超えた利益が計上された場合、連結配当性向を25%として業績に連動した配当を行うことを基本方針としています。なお、事業活動に直接の関わりのない特殊要因(特別損益)により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度については、その影響を考慮し、配当額を決定します。なお、決定した1株当たり年間配当金が前事業年度の1株当たり年間配当金を下回る場合、親会社株主に帰属する当期純利益に、該当期の減価償却費の一部(減価償却費×最大10%)をトラスコ善処^{せんたく}配当として加算し、連結配当性向を25%として配当を行います。

当連結会計年度の利益配当につきましては、この基本方針に基づき、年間配当金は、238円72銭を1株当たり当期純利益とみなし、連結配当性向25%の60円00銭となります。中間配当金として30円50銭を既に実施していますので、期末配当金については29円50銭となり、前回発表の予想金額28円50銭を修正するものです。

（ご参考）年間配当の内訳

| | 1株当たり配当金 | | |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 基準日 | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 当期実績 | 30 円 50 銭 | 29 円 50 銭 | 60 円 00 銭 |
| 前期実績 | 26 円 00 銭 | 28 円 00 銭 | 54 円 00 銭 |

以上